

## 余ガ改良ヲ加ヘタル結核眼反應液ニ就テ

金澤醫學專門學校眼科學教室(主任高安博士)

柴 野 順 吾

## 緒 論

ローベルトコッホ氏ガ「ツベルクリン」ヲ發見セシ以來結核ノ治療診斷或ハ結核患者ノ豫後判定ノ目的ニ於テ盛ナル臨床醫家ノ應用ヲ見タリ。然ルニ近年ニ至リテハ結核ノ治療ニ是レヲ用フル者尠クシテ同時ニ診斷或ハ豫後ノ判定ニコレヲ使用スル臨床家モ甚ダ稀ナルガ如シ。

蓋シ近時醫學ノ進歩ニツレ他ノ理學的診斷法ノ發達ヲ來シ特ニ「レントゲン線」ノ應用ニ依リテ、氣管、氣管枝腺結核ノ如キ聽診、打診法等ヲ以テ確定ニ苦シムモノモナホ容易ニ診斷ヲ下ス事ヲ得ルニ至リココニ及ビシモノナラン。然レドモ「ツベルクリン」結核反應ハ今尙時ニ豫後判定上ノ一助トシテ使用サレ殊ニ小兒ニ多キ閉鎖性結核診斷ノ一助トシテハ小兒科醫ノ賞讃ヲ受ケツツアリ。

現今知ラレタル診斷的應用方法トシテハ皮下ツベルクリン反應、ウオルファイスネル氏結膜反應、カルメット氏眼反應、ビルケー氏皮膚反應、Mouton氏ニヨル皮内反應、鼻反應、Lafitte—Dupont氏、Molmier氏及 Moro氏検査法等アリ。

然レドモ各々之レニ伴フ處ノ缺點ナキ能ハズ。皮下反應、皮膚反應、皮内反應ノ如キハ先ヅ患者ニ不快ノ感覺ナキ能ハズ。且又皮膚ニ損傷ヲ加フルノ故ヲ以テ廣ク調査ノ目的等ニ應用セントスル時ハ不便ヲ感ズル場合アリ。結膜反應或ハ眼反應ニアリテハ羞明、流淚、癢痒等ノ刺激作用強キ他ニ頭痛、輕度ノ結膜炎、角膜浸潤、角膜潰瘍、葡萄狀膜

ノ諸病等不測ノ危害ヲ來スコトアルヲ以テ注意セザル可カラズ、鼻反應ニ於テモ、眼反應ト同一ノ過敏度ヲ有シ、鼻粘膜ノ腫脹ハ被檢者ニ不快トスル所ナラン、モロー氏検査法即チ皮膚軟膏ヲ擦入スルニアリテハ簡單ナルモ陽性ニ於テ皮膚エ結節狀丘疹ヲ發生シ且成績不確實ナル嫌アリト云フ。

予ハ信ズ若シ以上ノ「ツベルクリン」反應ニ伴フ危險其他ノ不快副作用ヲ輕減スル事ヲ得バ「ツベルクリン」ハ結核診斷ノ一助トシテ再ビ廣ク臨床醫家ノ應用スル處トナラン然リ而シテ特ニ聽診、打診上ニ於テ肺臟ニ浸潤ヲ證明セシ場合ニ於テハ其果シテ結核性ナルヤ非結核性ナルヤハ「レントゲン線」ノ應用ヲ以テスルモ尙ホ斷定スル事難事ナラン、コニ「ツベルクリン」反應ヲ應用シテ診斷ノ一大補助トナス事ヲ得バ臨床醫家ノ賞推ヲ得ン事大ナリト信ズ。

予一臨床家トシテ從來ノ「ツベルクリン」反應ニ伴フ缺點ヲ減殺セン事ヲ望ンデ止マズ。遂ニ「ツベルクリン」反應液ニ改良ヲ加フル事ヲ得テコレヲ眼反應ニ應用的試験ヲ行ヒタルナリ。

予ヤ今傍ラ開業醫師トシテ之レガ研究ニ十分ノ餘暇ヲ得ズ試験人員ノ如キモ少數ニシテ其研究タル未ダ端緒ニ過ギズ、諸君ノ前ニ發表スベキ充分ノ價值ヲ有セザルモ、サキニ我北陸醫學會ノ開催ヲ機トシテ只簡單ニ予ガ研究ヲ述ベシ所ナルモ此處ニ本誌ヲ借リテ大方諸賢ノ御批判ヲ乞ハントスルモノナリ。

## 藥 液

舊ツベルクリン「ハ」グリセリンブイヨン「ニ培養セル結核菌ヲ濾過シ其濾液ヲ濃縮セルモノニシテ、ウオルファイスネル氏ハ結膜反應ニ於テ舊ツベルクリン」其物ヲ稀釋シテ用ヒ、カルメット氏ハ眼反應ニ於テ其「ツベルクリン」中ノ刺戟物質タル「グリセリン」ヲ除去精製シテ使用ニ供シタリ。

予ノ藥液ハ結核菌培養ノ殘留成分ヨリ更ニ一定方法ニヨリ、「グリセリン」其他ノ刺戟性物質ヲ除去シ乾燥シ用ニ臨ミ稀釋スルモノナリ。

## 使用 法

原 著

柴野 〓 余ガ改良ヲ加ヘタル結核眼反應液ニ就テ

## 反應判別

一、二滴ヲ一眼又ハ兩眼ニ滴下スルニ有リト雖モ比較對照センガ爲メ一眼ニノミ滴下スル方便ナリトス。

陽性反應ヲ呈スル時ニハ眼瞼結膜及眼球結膜ニ於テ、雲狀充血乃至樹枝狀充血ヲ見ル。

予ハ前記ノ如ク一開業醫トシテ試驗材料ヲ得ル事少數ナルト加フルニ閑暇ヲ得ザリシタメ結核患者ニ就テ行ヒタルモノ僅ニ十二名ニシテ別紙ノ如シ。

副作用等ニ就キテ檢スルニ凡テ刺戟反應ハカルメット氏眼反應ヨリ遙ニ少ク局所症候甚ダ輕微ナリ、而シテ其局所症候ハ一般ニ輕度ノ肺炎加答兒患者等ノモノハ放置スルモ消退シ、稍ヤ高度ナル結核症患者ニ於テハ輕度ノ局所症候ヲ殘スコトアルモ、是ハ冷罨法又ハ〇五—一%「コカイン」皁礬水ノ點眼ニヨリ速ニ消退セシムルヲ得タリ。

尙ホ陽性反應ハ凡テ點眼後二時間ヨリ四時間以內ニ於テ現レタリ、文獻ニヨレバ統計的反應時間ニ差異アレドモ、〇五—一%ノ舊ツベルクン「液」ヲ用ヒタル場合ニハ陽性反應約五時間ニシテ現ハレ、或ハ十八—二十四時間內ニ潮紅ヲ現ハスベシト記載セルニ比シ時間經濟上ノ利便大ナリ。

次ニ對照試驗トシテ健康者ニ即チ結核的全身症候全ク無クシテ、打診上ノ變化ナク聽診上少數ニハ診斷學的輕度ノ肺炎呼吸延長アルモ、臨床家ノ注意スベキ程度ノ呼吸延長全クナキモノ二十五名ニ就テ試驗セシニ、全ク陰性反應ニシテ局所症候ナキ事、恰モ蒸餾水ノ一滴ヲ點下シタル時ノ如ク五時間以上ヲ經過シタルモ陰性ナリキ。此內一名ハ輕度ナル眼瞼結膜炎ヲ有セル者ニシテ陽性反應ニ近キモノヲ見タルガ之レ一般ニ結膜炎ヲ有スル者ニアリテハ陽性ニ近キ反應ヲ見ルモノナル事ヲ特ニ記載セントス。

予ガ今日マデ調査セシ結果ハ以上ノ如クニシテ其研究タル未ダ充分ナラズ、カルメット氏反應ト同一被檢者ニ就テ精細ノ注意ノ下ニ比較シ或ハ他ノ「ツベルクリン」診斷ニ於テ不確定トセラレタル結核性腦膜炎、粟粒結核患者、麻疹ヲ合併セル患者、腺性結核患者、氣管枝腺結核患者等ニ就テハ一回ノ試驗ヲモ行ハザルナリ。

唯ココニ被檢者少數ナルタメ確實ナルモ他ノ「ツベルクリン」反應ニ於テ見ルガ如ク高度肺勞患者ニシテ其反應ヲ現ハサザル場合ニ接セザリシコトヲ附言ス。

### 結 論

一、余ノ反應液ハ寧ロ結核菌製劑ニシテ他ノ反應液ニ比シテ更ニ刺激性ヲ減ズベキ操作ヲ加ヘタルモノナレバ局所症候甚ダ輕微ニシテ全身症候ノ如キハ殆ンドナシ。

二、陽性反應ハカルメット氏反應ニ比シ短時間ニ現ハレ來ルモノノ如シ。

三、被檢者ニ不快ナル感覺ヲ與フル事全クナキカ或ハ少シ。

四、皮膚、皮内、皮下反應ニ比シテ遙ニ簡單ニシテ臨床醫家ノ使用ニ便ナリ。

今回ハ以上ヲ述ブルニ止メ以後ノ研究並ニ藥液製法等ニ就キテノ詳細ハ次回ノ報告ニ讓ラントス。

### 結 核 患 者 眼 反 應 統 計 表

姓 名	年 齡	檢核痰	点眼後 反應時	反 應	持續時間	姓 名	年 齡	檢核痰	点眼後 反應時	反 應	持續時間
福 本 某	三六	十	三時	十	六時	山 根 某	三一	十	二時三時	十	三十六時
庄 田 某	一八	十	二時	十	二十五時	渡 邊 某	三三	十	三時四時	十	二十四時
宮 下 某	三四	十	三時	十	二十四時	傳 某	三五	十	三時四時	十	十八時
猪 俣 某	二六	十	三時四時	十	十六時	宮 本 某	二二	十	二時三時	十	二十四時
村 本 某	五八	十	三時四時	十	一週	中 屋 某	二〇	十	三時四時	十	十六時
小 川 某	二九	十	三時四時	十	十八時	福 田 某	一八	十	二時三時	十	二十時